

平成25年10月7日

ホスピタルギャラリーbe 展示のご案内「一枚の紙」展

武蔵野美術大学基礎デザイン学科の学生たちが授業で制作した作品を展示しています。

## (概要)

折り紙 (origami) は日本の伝統的な遊びとして世界に広まり、今ではミウラ折りのように人工衛星の折り畳みパネルへ応用されたり、位相幾何学などの高等数学で研究されています。

本展示では、武蔵野美術大学基礎デザイン学科2年生が「形態論II」の授業で制作した作品を選抜しました。テーマは「一枚の正方形の紙から何がつくりだせるか」。単なる折り紙の課題ではなく、あえて具象的な動物や植物でなく、水の波紋、川の流れ、風の吹き渡り、光の放射など、自然の形象（それはじつに繊細であり、静止せず流動しながら自らのかたちを変容させていく）を対象としました。自然を観察する鋭い目と、わずかな折り目、かすかな筋やへこみ、切り方や陰影の調子への精度のよい手作業が求められます。工業製品である「一枚の紙」は、果たして自然の形象を顕現させ、生命性が発露する瞬間を捉えることに成功したでしょうか。

## 記

1. タイトル：「一枚の紙」展
  2. 期間：平成25年9月30日(月)～平成26年1月25日(土)
  3. 場所：ホスピタルギャラリー「be(びー)」  
(徳島大学病院西病棟1階ロビー)
  4. 主催：徳島大学病院
  5. 協力：武蔵野美術大学基礎デザイン学科
- ※添付資料(ポスター)をご参照ください  
このことにつきまして、報道下さいますようお願いいたします。

## お問い合わせ先

部局名 徳島大学病院  
責任者 病院長 安井 夏生  
担当者 総務課広報・企画部門 西野 陽子  
電話番号 088-633-7463  
メールアドレス ynishino@tokushima-u.ac.jp

